

有田川町鳥獣害防止対策事業（防護柵等設置支援事業）補助金交付申請書

有田川町長 中山正隆 様

令和 年 月 日

団体名

住所又は所在地

申請者 氏名又は代表者氏名

電話番号（携帯）

次のとおり令和 7 年度有田川町鳥獣害防止対策事業（防護柵等設置支援事業）の補助金 円
を交付されたく、有田川町鳥獣害防止対策事業補助金交付要綱第 5 条（第 8 条）の規定により申請します。

事業計画書			
実施場所	対象作物・対象鳥獣	事業内容	事業費
(m ²)	【対象作物】 ()	☐ 防護柵等設置支援事業 () L = m ☐ わな等設置支援事業 ☐ 有害サル群捕獲対策事業 ☐ 国庫交付要綱に係る事業 ()	
	【対象鳥獣】 イノシシ・シカ・サル その他 ()		

添付書類

- ☐防護柵等設置支援事業
 - ・収支予算書（別紙 1）
 - ・誓約書（別紙 2）
 - ・見積書
 - ・カタログ（県交付要綱中の防護柵設置支援事業を活用する場合）
 - ・設置予定箇所図面
 - ・町税完納証明書等
- ☐わな等設置支援事業
 - ・収支予算書（別紙 1）
 - ・見積書
 - ・カタログ
 - ・設置予定箇所図面
 - ・団体等名簿(わな猟免許所持者が含まれていること)
 - ・町税完納証明書等
- ☐有害サル群捕獲対策事業
 - ・収支予算書（別紙 1）
 - ・見積書
 - ・協議会規約等・構成員名簿
- ☐国庫交付要綱に係る事業
 - ・収支予算書（別紙 1）
 - ・町長が必要と認める書類

職員確認欄	
確認書類	確認者
MN・免許・パ・身手 その他 ()	

有田川町鳥獣害防止対策事業（防護柵等設置支援事業）補助金事前着工届

令和 年 月 日

有田川町長 中山正隆 様

申請者 住所

氏名

電話番号（携帯）

令和 年 月 日付け令和7年度 有田川町鳥獣害防止対策事業補助金申請書で申請した事業について、下記条件を了解のうえ、補助金交付決定前に着工したいので届け出ます。

記

- 1 補助金交付決定を受けるまでの期間内に天変地異等の事由によって実施した事業に損失を生じた場合、これらの損失は事業実施主体が負担するものとする。
- 2 補助金交付決定を受けた補助金額が、交付申請額又は交付申請予定額に達しない場合においても、異議がないこと。
- 3 当該事業については、着工から補助金交付決定を受ける期間内においては、計画変更を行わないこと。

事業計画書

実施場所	事業内容	事前着工の理由
(m ²)	☐ 防護柵等設置支援事業 () L = m 【対象鳥獣】 イノシシ・シカ・サル その他 ()	☐ 鳥獣による農作物被害が著しく、早急に対策を講じる必要があるため。 ☐ その他 ()

誓 約 書

申請者 No. _____

私は、防護柵等設置支援事業を申請するにあたり、下記の事項について誓約します。

記

【誓約事項】・・・ チェック ☒ してください

- ☐ 事業実施農地について、過去 5 年間で同事業の補助を受けていません。
- ☐ 今回申請した防護柵は、やむを得ない理由を除き、5 年間保持します。
- ☐ 同一の農家（同一経営体）で、今年度内に同じ補助事業について重複して補助を受給していません。
- ☐ 申請者と事業実施農地の登記名義人が異なる場合は、登記名義人の承諾のもとに事業を実施します。

どちらかに
チェック
☒

- ☐ 申請時において、申請者の消費税及び地方消費税の課税方法は、本則課税※ではありません。※前々年の売上高が 5,000 万円を超えた場合は、必ず本則課税となります
- ☐ 申請時において、申請者の消費税の課税方法が本則課税であるため、補助対象経費には消費税及び地方消費税相当額を含みません。
- ☐ 提出書類において虚偽または誤りの内容を申請したことが判明した場合には、速やかに補助金を返還することに異存ありません。

年 月 日

申請者住所 _____

氏名 _____

電話番号(携帯) _____

-

-